

科目担当者氏名		科目担当者連絡先(メールアドレス)	
(ふりがな)	いなます かずのり 稲増一憲	[REDACTED]	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな)	きむ みよんす 金 明秀	関西学院大学 社会学部	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習 I	KSGa-170701-0	班は5名(授業履修者は19名)	

I. 調査実習に関するコメント	
<p>学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：班員のうち2名と他の3名の能力やモチベーションの差が大きく、当初は関係もぎくしゃくしていたが、話し合いを重ねるとともに、各人の得意なことが分かり始め、最終的には協力して実習を進めることができていたようである。また、動画作成やTwitterを模した画像作成に長けたメンバーがいたため、班員たちの行いたい研究をWEB調査実験という形で行うことができた。</p>	
II. 調査の企画・設計(デザイン)	
1. 調査のテーマ/領域：WEB広告における炎上	
2. 調査の内容/概要：自動車保険のWEB広告を模した刺激動画を作成し、動画のみを見せる群、批判的メッセージを事前に見せた上で動画を見せる群、動画を見せた後に批判的メッセージを見せる群をランダムに割り当てたWEB調査実験を行った。	
3. 調査の範囲/対象(量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：ウェブ上のクラウドソーシングサービス「クラウドワークス」の登録者に依頼を行い、869名から回答を得た。	
4. 主な調査項目：動画CMへの印象、動画CMの注目点、批判コメントへの共感、普段のTwitter利用、CM炎上への態度、自動車の保有、自動車保険への加入の有無、性別、教育程度	
III. データ収集の方法と結果	
5. データ収集(現地調査)の方法：ウェブ上のクラウドソーシングサービス「クラウドワークス」からURLに誘導する形でウェブ調査サービスQualtrics上での回答を求めた。	
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：2017年11月24日から11月29日までの期間に、Web上で調査を行った。	
7. 収集したデータの量と質への評価(量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：869名から回答を得たものの、質問文を読まずに回答していると判断される者を除き、722名のデータを分析に使用した。1割から2割程度、質問文を読まずに回答していると判断される者がいるというのは、先行研究に照らしてWeb調査としては	
IV. データ分析の方法と結果	
8. データ分析/解釈の方法：フリーの統計ソフトウェアHADを用いて因子分析・分散分析(1要因3水準)などを行った。	
9. 調査の成果(調査から得られた主な知見など)：調査を行う前の仮説は、批判コメントを読んだから動画に接触した場合のみ、批判コメントが提示したフレームに基づいて視聴を行うため、CMへの印象が悪くなるというものだったが、コメント提示のタイミングに関わらず、批判コメントを提示するとCMへの印象が悪化した。対象者の自動車保険への関与度が低かったことが、批判コメントによって直接対象者が影響された原因かもしれない。	
10. 報告書刊行の予定と概要：5班(19名)のレポートをまとめた報告書を冊子として作成しており、こちらを提出する。	

- <記入上の注意点>
1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
 2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。
 3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通り)にして、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。
 4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。